

登録コード	TSA03500	開講年度	2026				
授業科目	学外特別実習Ⅱ（物質）					担当教員	萩尾 健史
英文授業名	Internship 2					副担当	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	物質化学分野修士課程学生
講義室				授業形態	実験	備考	令和8年4月までは影島が担当。5月以降は萩尾が担当。
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					⇔	【授業の達成目標】
	2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【研究科共通】人類, 社会の平和的・持続的発展のために, 研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観					⇔	幅広い見識と健全な倫理観を持ち, 工学的な立場から社会の発展のために貢献する精神と行動力を有することができるようになる。
	【研究科共通】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力					⇔	本学以外の高等教育機関の講義を受講することにより, 専門及び関連する分野を中心とする広範な知識を習得し, その結果を発信することができるようになる。
	【研究科共通】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					⇔	幅広い見識と健全な倫理観を持ち, 工学的な立場から自分自身の考えを説明できるようになる。
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観					⇔	幅広い見識と健全な倫理観を持ち, 工学的な立場から社会の発展のために貢献する精神と行動力を有することができるようになる。
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力					⇔	本学以外の高等教育機関の講義を受講することにより, 専門及び関連する分野を中心とする広範な知識を習得し, その結果を発信することができるようになる。
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					⇔	幅広い見識と健全な倫理観を持ち, 工学的な立場から自分自身の考えを説明できるようになる。
(2)授業の概要	インターンシップ活動先の候補を選んだ後、活動の内容と計画について指導教員（担任教員）と相談し承認を受ける。 また、学務委員と相談し活動が単位認定対象となることを確認し承認を受ける。インターンシップ活動を実施し、活動終了後、実施報告書を作成して指導教員および学務委員と面談し、実施の確認と報告の承認を受ける。学務委員が単位認定の手続きをおこなう。 実習先候補の選定にあたっては、掲示、就職活動室、就職資料室、企業もしくは団体のWebサイト等から情報を得ることができる。 企業等では、実務経験が生かされた実習を受けることができる。						
(3)授業計画	1. 指導教員との相談（計画等の承認） 2. 学務委員との相談（計画等の承認） 3. インターンシップ活動の実施（概ね40時間以上） 4. 指導教員との面談（実施確認と報告の承認） 5. 学務委員との面談（実施確認と報告の承認）						
(4)成績評価の方法	活動への取り組み状況を実施後の面談および報告書等から評価しておこなう。60点以上を合格とし、評定は信州大学の基準に従い5段階にておこなう。						
(5)成績評価の基準	【報告書】 (i)インターンシップの目的が適切であり、(ii)そのインターンシップ先の事業内容を説明できており、(iii)そのインターンシップ中の活動が事業にどのような役割を担っているかを指摘できており、(iv)これらの活動から自分自身の価値観へのフィードバックがなされており、(v)その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i)から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。						
(6)事前事後学習の内容	・インターンシップの目的や背景について事前に調査して、インターンシップ先を決定する。 ・インターンシップにおいて、自分がどのようなことを学習し、身に付けたいか、自分の考えをまとめ、インターンシップに取り組む。 ・インターンシップから学んだこと、新たに見いだされた価値観などを活かして、社会に貢献できる人材になるための知識や技術を身に付けるように常に意識して学習する。						
(7)履修上の注意	事前の指導教員および学務委員の承認を得ずに実施した活動については認定されないので注意すること。承認にあたっては、内容が物質化学科学生のインターンシップ活動としてふさわしいかどうか、活動時間（期間）の適切であるかどうか、他の学業に支障がないか等の点について検討をおこなう。面談と実施報告書提出は原則として活動終了後1ヶ月以内におこなうこと。						
(8)質問,相談への対応	指導教員、学務委員が行う。受入れが決まっている場合は、研修先からの受け入れ許可通知書（研修期間、研修場所等がわかる資料）を持参して来ること。						
(9)その他							
【教科書】	特に指定しない。						
【参考書】	特に指定しない。						